



2018年8月1日
第7号

JR東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本
発行人 助川一実
編集 情宣部

「事務業務の再構築について」提案受ける

現業機関及び企画部門の事務業務を集約し 総合事務センター（仮称）化をはかる。

- 【目的】 業務の一元化及び事務職社員の技能継承、また急激な世代交代や社員数の減少を踏まえた効率的な事務業務体制の確立を目的として、系統を超えた事務業務の再構築を図る。
- 【内容】 営業系統・運輸系統・企画部門の共回事務業務を横浜総合事務センター（仮称）に集約する。
- 【実施日】 2018年10月1日。

【変更後の標準数】 ※（）は変更前

箇所名	長	助役	事務	営業	輸送	計
横浜駅	1	16 (17)	0 (7)	98	10	125 (133)

箇所名	長	助役	事務	車掌	運転士	車両	計
大船運輸区	1	12	3 (5)	57	137		210 (212)
茅ヶ崎運輸区	1	11	2 (4)	43	52		109 (111)
国府津運輸区	1	12	3 (5)	69	110		195 (197)
相模原運輸区	1	11	3 (4)	111	123		249 (250)
中原電車区	1	12	4 (5)		138	22	177 (178)

【特徴的議論】

- 《組合》 本日、提案があった。しかしその前に職場でパワーポイントを使つての説明があり、混乱があった。これは30年間の労使議論の否定であり、誠に遺憾である。
- 《会社》 これまでも現場で前広に説明してきた。労使間の否定ではない。社員に必要な説明はしていく。
- 《組合》 混乱は事実であり、度合いは大きかった。受け止めるべきである。
- 《会社》 混乱させるつもりはない。丁寧な説明を心掛けていく。
- 《組合》 本施策の目的は何か。
- 《会社》 提案資料の2行に包括。（事務業務は）広く多岐にわたる。事務はなくなる業務。世代交代しながら、効率的に業務を遂行しなければならない。
- 《組合》 誰でもできる仕事ではないと考える。その通りでよいか。
- 《会社》 転勤があつて、スパツと出来るものではない。技能継承は必要である。事務業務は無くない。

**働きがいがあつてこそ施策
みんなの声を結集しよう！**